

平成25年度

岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

(平成24年度事務事業対象)

平成26年3月

岩出市教育委員会

はじめに

岩出市教育委員会では、第2次岩出市長期総合計画に掲げたまちづくりの基本方針である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、学校教育の充実並びに青少年健全育成、生涯学習・スポーツの推進及び文化・芸術の振興に努めてまいりました。

また、平成24年度の重点目標として、平成23年度に引き続き「生きる力を育む人間力の育成」を掲げ、重点目標の推進に当たっては、家庭や地域社会との連携協力を図りながら、取り組んできたところです。

本報告書は、本市教育委員会の課題や、今後の取組の方向性を明らかにし、教育行政の一層の推進を図るとともに、市民から信頼される教育行政を推進するため、平成24年度に実施した事務事業の点検評価をまとめたものです。

点検評価の結果を踏まえ、よりよい教育の実現を目指し、教育行政の充実に努めてまいります。

平成26年3月

岩出市教育委員会

目 次

I	岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について	
1	点検・評価の経緯	1
2	点検・評価方法について	1
3	教育委員会評価委員	1
4	教育委員会事業の概要	2
	【教育総務課】	
(1)	豊かな学力の育成と体力の向上	2
(2)	安全・安心な教育環境の整備・充実	3
(3)	地産地消の推進による安全・安心な学校給食の充実と 徴収率の向上	4
	【生涯学習課】	
(1)	青少年の健全育成	5
(2)	生涯学習の推進	5
(3)	文化・芸術の振興	6
	【岩出図書館】	
(1)	子ども読書活動推進事業	7
(2)	図書館利用促進事業	7
	【民俗資料館】	
(1)	民俗資料館の活性化	7
(2)	文化・学習基盤の確立	7
(3)	歴史・伝統文化の振興	8
II	各課の事業に対する点検評価の結果について	
1	点検評価結果	
	【教育総務課】	
(1)	学校教育の充実	9

(2) 子育て環境の充実	12
(3) 国際交流の推進	12

【生涯学習課】

(1) 青少年の健全育成	14
(2) 生涯学習の推進	14
(3) 文化・芸術の振興	16
(4) 人権尊重の推進	17

【岩出図書館】

(1) 子ども読書活動推進事業	19
(2) 図書館利用促進事業	20

【民俗資料館】

(1) 文化・芸術の振興	21
--------------	----

2 教育委員会事務事業評価一覧表

【教育総務課】

事務事業評価一覧表	23
-----------	----

【生涯学習課】

事務事業評価一覧表	26
-----------	----

【岩出図書館】

事務事業評価一覧表	30
-----------	----

【民俗資料館】

事務事業評価一覧表	31
-----------	----

Ⅲ 関連資料

○平成25年度教育委員会事務評価に関する意見書の提出について	32
○岩出市教育委員会評価等実施要綱	36

I 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

1 点検・評価の経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、PDCA のマネジメントサイクルを確立すべく、平成24年度における岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価について第2次岩出市長期総合計画に基づき実施した事業のうち、主な38事業について点検・評価を実施した。

2 点検・評価方法について

点検・評価の方法については、教育総務課、生涯学習課、岩出図書館、民俗資料館の2課2館で、各事業をその目的ごとに施策としてまとめ、施策単位で評価を実施した。

評価については、4段階（a期待以上、b期待どおり、cやや下回る、d期待以下）の基準を設けた。

評価の今後の方向性については、「廃止」、「見直し」、「完了」、「継続」の4つの基準を設けた。

点検・評価の報告書については、平成26年2月27日と3月14日、2回の教育委員会評価委員会を開催し、本市の教育に関し学識経験を有する方々に意見、助言をいただき、確認のうえ取りまとめた。

各事業については、平成24年度教育委員会事務事業評価一覧表のとおりである。

3 教育委員会評価委員

氏 名	職 名	
藤井 均	元岩出市立小学校長、社会教育委員	
富永 茂郎	岩出市青少年育成市民会議本部委員	
山田 恭央	岩出市公民館運営審議会委員長	

4 教育委員会事業の概要

岩出市教育委員会では、第2次岩出市長期総合計画の基本方針である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現を目指し、「学校教育の充実」「青少年の健全育成」「生涯学習の推進」「文化・芸術の振興」「国際交流の推進」「人権尊重の推進」を主要施策として掲げ、教育総務課、生涯学習課、岩出図書館、民俗資料館の2課2館において各事務事業を実施した。

教育総務課においては、「(1)豊かな学力の育成と体力の向上」、「(2)安全・安心な教育環境の整備・充実」、「(3)地産地消の推進による安全・安心な学校給食の充実と徴収率の向上」の3つの項目を重点事業として実施した。

(1) 豊かな学力の育成と体力の向上

(ア) 学力・体力向上対策実践事業

「学力・体力向上対策実践事業」としては、「いわでアスリートクラブ事業」、「適応指導教室事業」、「確かな学力育成のための実践研究事業」、「外国青年招致事業」を実施した。

「いわでアスリートクラブ事業」では、陸上競技を通じて、児童の心身の健全育成が図られた。

登録者は、岩出市内の小学校3年生から6年生を対象に222名。

「適応指導教室事業」では、嘱託学校教育指導員2名を配置し、心理的要因等により学校生活に適應できず登校できない児童・生徒に対する教育相談や生活・学習支援を行うほか、指導員と担任教師が連携を深めることにより、在籍校への復帰を図っている。

入室者は、平成23年度は中学生4名と少数であったが、平成24年度は、中学生12名となり、前年度に比べ利用促進を図ることができた。また、その内の1名は、完全に学校への復帰を果たすことができた。

なお、中学3年生の入室者4名全員が普通高校へ進学している。

「確かな学力育成のための実践研究事業」では、岩出小学校を「言語活動の充実」研究の拠点校（研究指定2年目）として、上岩出小学校を算数研究の拠点校（研究指定1年目）として指定し、市内各小・中学校と連携しながら、子どもの確かな学力を育成している。

その結果、岩出小学校では、ハンドサインを活用した拳手による意見交換、

討論形式の授業など、子どもの学習意欲や思考力を高めるための先進的な取組が行われた。上岩出小学校では、算数における基礎・基本の定着を図るための徹底した反復練習や、家庭学習を充実させるための家庭向け啓発資料の作成などに取り組み、徐々にその成果が現れてきている。

他の小学校4校については、それぞれの特色を生かした自主研究を実施し、子どもの実態に応じた取組を推進し、学校間でその交流を行っている。

「外国青年招致事業」では、週3回であった中学校の英語の授業が、平成24年度から週4回になり、ますます英語教育が重要となる中で、特に英語による「聴く・話す力」の育成や国際理解教育の充実に寄与した。

(イ) 就学援助費補助事業

「就学援助費補助事業」においては、「特別支援教育就学奨励費扶助事業」、「要保護、準要保護児童・生徒扶助事業」を実施した。

「特別支援教育就学奨励費扶助事業」では、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童・生徒用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、就学に係る経済的な負担軽減を図った。

小学校では40名、中学校では6名に対し、特別支援教育就学奨励費扶助事業を実施した。

「要保護、準要保護児童・生徒扶助事業」では、経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童・生徒用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、就学に係る経済的な負担軽減を図った。

小学校では403名、中学校では314名に対し、要保護、準要保護児童・生徒扶助事業を実施した。

(2) 安全・安心な教育環境の整備・充実

「教育環境の整備事業」としては、「小・中学校施設改修事業」による施設の充実と「ブロック塀等耐震化補助事業」、「小・中学校教材教具等の整備事業」による教育環境の充実に寄与した。

「小・中学校施設改修事業」では、小・中学校の非構造物材耐震化工事や

補修工事、環境整備工事及び通学路整備工事を実施した。

小学校の補修工事については、岩出小学校では大プールろ過用設備改修工事、校内放送設備工事、山崎小学校では屋外トイレ新築工事、普通教室改修工事、山崎北小学校では駐車場整備工事、電気設備不適合箇所改修工事、根来小学校ではプール塗装工事、校内放送配線設備改修工事、上岩出小学校では普通教室改修工事、廊下手洗い増設工事等を実施した。

また、中学校の補修工事については、岩出中学校ではテニスコート改修工事、普通教室改修工事、揚水管取替工事、岩出第二中学校では中庭補修工事、体育館換気窓取付工事等を実施した。

環境整備工事については、山崎小学校、上岩出小学校、中央小学校において、夏場の西日が強く当たる南北棟の窓ガラスに遮熱フィルムを貼る工事を行い、前年度に設置した扇風機との併用による学習環境の改善に努めた。

また、通学路整備工事については、岡田地区外通学路整備工事他7件の工事を実施した。

以上の事業を行った結果、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保が図れた。

「ブロック塀等耐震化補助事業」は、岩出市広報や市のウェブサイトへの掲載、市政懇談会や区・自治会長会議でのチラシの配布により、周知を行ったが、利用世帯がなく、住民への周知方法について再検討する必要がある。

「小・中学校教材教具等の整備事業」では、特に中学校での体力向上対策の一つとして、マットなどの体育備品の充実を図ったほか、小中学校とも計画に基づいた教材備品の充実・更新を図った。

児童・生徒用図書購入については、小学校では2,810冊を購入し、小学校の総蔵書数が78,979冊となった。また、中学校では1,314冊を購入し、中学校の総蔵書数が38,755冊となった。その結果、文部科学省の「学校図書館図書標準」による「標準冊数」を、根来小学校以外は充足している。（根来小学校は、蔵書数9,974冊、標準冊数10,560冊）

（3）地産地消の推進による安全・安心な学校給食の充実と徴収率の向上

「学校給食運営事業」では、児童・生徒に栄養バランスのとれた安全で安心な給食を提供し、心身の健全な育成を図るとともに、地産地消を推進することにより、安全で新鮮な食材の活用を図った。

また、円滑な学校給食運営を推進するため、給食費の滞納者に対しては、学校との連携を一層強化した督促を行うとともに、和歌山簡易裁判所への支

払督促申立による債権差押や、児童手当からの徴収、夏季・冬季徴収、電話催告、随時の臨戸徴収等を行い、徴収率の向上に努めている。

次に、生涯学習課においては、「(1) 青少年の健全育成」、「(2) 生涯学習の推進」、「(3) 文化・芸術の振興」の3つの項目を重点事業として実施した。

(1) 青少年の健全育成

青少年の健全育成においては、次代を担う青少年が健全に育つために、家庭・学校・地域・行政が青少年の健全育成を目的とした各種団体との連携を図り、青少年が犯罪に巻き込まれないよう、青色防犯パトロールの巡回や通学路に設置している子ども見守りカメラを運用するとともに、登下校時のあいさつ運動、見守り活動などを実施し、犯罪抑止に寄与することができた。

「岩出市青少年補導委員会」の活動の一環として、青少年を取り巻く環境浄化を図るため、ゲームセンターや大型店舗での非行未然防止活動を実施した。

「岩出駅周辺環境浄化パトロール」では、各種関係団体等の連携により、駅前での清掃活動や下校時の生徒に声かけ運動を実施した。

「青少年センター」においては、青少年の非行防止活動を有効かつ適切に行い、学校・警察・各種団体と連携を密にし、青少年健全育成のため取り組んだ。

(2) 生涯学習の推進

生涯学習の推進においては、子どもから高齢者まで、一人一人が個性や能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を送るため、学習機会の提供と環境づくりを行った。

「放課後子ども教室推進事業」においては、市内6小学校85教室を開催し、延べ8,770名が参加した。

公民館文化教室では、15講座で、延べ261名が受講し、知識や技術を身に付けるだけでなく、ともに学習する仲間として、人と人との結びつきを深めることができた。

成人講座では、10講座で、延べ613名が受講し、現在社会が抱える課題を教材として学習し、相互のふれあいと交流を深め、地域社会の発展に寄与することができた。

公民館においては、市民の高まる学習意欲やニーズに対応した生活に役立つ学習、文化的な学習、地域に貢献できる学習等の教室や講座を実施した。

事業としては、

- (ア) 市民を対象とした文化教室として、書道教室、英会話教室、韓国語教室等を開催。
- (イ) 成人講座として、行政講座や歴史講座等を開催。
- (ウ) パソコン教室の開催。
- (エ) 子どもを対象とした夏・冬の子ども講座として、お菓子教室等を開催。
- (オ) 高齢者を対象としたふれあい学級として、歴史講座や健康教室等を開催。

スポーツ事業として、市民運動会では9,869名の参加があり、市民のスポーツ振興と、レクリエーションの普及や健康増進を図り、市民相互のふれあいと交流を深める機会を提供することができた。

岩出マラソン大会では、2,697名の参加があり、市外からの多くの参加者に対して岩出市を広くPRすることができ、また、参加者間の交流により互いに触れ合うことができ、有意義な大会であった。

また、競技力の向上と育成、活動の活性化を図るため、スポーツ少年団や体育協会等への補助や、全国大会等に出場する選手に補助することで、生涯スポーツの振興と青少年の健全育成等に寄与することができた。

全国大会は10件、近畿大会は8件、県大会は13件で、合計31件の補助を行った。

(3) 文化・芸術の振興

文化・芸術の振興においては、多種多様な芸術・文化に触れる機会の提供、また、伝統的文化の継承を促進し、文化・芸術の振興を図った。

文化祭事業では、23,183名の参加があり、市民の文化活動の成果を発表する場を設け、文化活動の振興と普及を図れた。

公民館フェア事業では、コンサートに14団体、232名、ギャラリーに16団体、224名の参加があり、人々の出会い・ふれあいの場を提供できた。

全国子守唄サミット&フェスタ事業では、平成24年度は、長崎県島原市で開催され、根来の子守唄保存会と根来史研究会根来鉄砲隊が参加し、子守唄の保存・継承に努めている全国の加盟団体（7団体）と交流を深めると共に、根来の子守唄を全国に発信することができた。

次に、岩出図書館においては、「(1) 子ども読書活動推進事業」、「(2) 図書館利用促進事業」の2つの項目を重点事業として実施した。

(1) 子ども読書活動推進事業

子どもたちの生涯にわたる「生きる力」の基礎的な部分を育む豊かな読書環境づくりの継続的な推進を図るため、アンケート調査を実施するとともに、意見募集も行い、第2次岩出市子ども読書活動推進計画（平成25年度～平成29年度）を策定した。

また、家族が子どもと一緒に読書する時間をつくり、「うちどく（家での読書）」することを推進するため、おすすめの図書のリストや家族の読書の記録を書きとめる欄を掲載した「うちどくノート」の配布や、図書館におすすめ本を展示する「うちどくコーナー」を設置し、市内の各小中学校と連携しながら家庭力の向上と子どもの読書活動の活性化を図った。

(2) 図書館利用促進事業

市民の図書館に対する理解と関心を深めるため、各種のイベント事業、講演会、DVD上映会等を開催することにより、利用促進を図った。

平成24年度の入館者数は、岩出図書館及び分館・分室合わせて199,969名、蔵書数は、238,656冊、貸出冊数は、335,244冊、登録者数は、25,077名であった。

今後も、地域密着型図書館として、市民の身近にあって、「いつでも、どこでも、誰でも」図書館サービスが受けられるよう努める。

次に、民俗資料館においては、「(1) 民俗資料館の活性化」、「(2) 文化・学習基盤の確立」、「(3) 歴史・伝統文化の振興」の3つの項目を重点事業として実施した。

(1) 民俗資料館の活性化

「施設改修事業」としては、「民俗資料館屋根補修工事」、「民俗資料館常設展示室空調設備改修工事」、「民俗資料館常設展示改修工事」の実施により、施設の整備・充実が図られた。

(2) 文化・学習基盤の確立

(ア) 民俗資料館展観事業

「秋季企画展」では、5,303名の入館者があった。また、「根来塗講座作品展示」では7,359名、「文化協会作品展示」では6団体述べ6,877名の入館者があり、次代を担う小・中学生や若い世代の方にも郷土の歴史の情報や学習の場を提供した。

(イ) 民俗資料館体験学習事業

「小・中学生歴史ウォーク」では、58名の参加があった。また、「企画展講演会」では47名、「歴史講座」は2回開催し、合計で149名の参加があり、市民に様々な角度から郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供することができた。

(ウ) 伝統工芸継承事業

「根来塗講座」の実施や「根来の子守唄保存会」の助成を行った。今後も、伝統工芸の伝承や民俗芸能等の調査・保存に努め、指導者や後継者の育成を図り伝統文化や文化遺産の保存・継承を推進する。

(3) 歴史・伝統文化の振興

「国宝（建造物）根来寺大塔ほか防災・防犯事業」など指定文化財への管理補助を行った。今後も、岩出の歴史、文化、観光の中心地として関心が高い根来寺をはじめ地域の歴史や文化を伝える貴重な文化遺産については、関係機関等と連携協力し保全・活用を図っていく。

Ⅱ 各課の事業に対する点検評価の結果について

1 点検評価結果

【教育総務課】

(1) 学校教育の充実

〔基本方針〕

生涯にわたる人間形成の観点から生涯学習の基礎を培い、豊かな心と多様な社会環境に適応できる能力を持った児童・生徒の育成に向けて、教育施設や教育内容の充実を図る。

また、「生きる力」を育むため、個人の尊厳と個性の尊重という基本的な考えに立ち、一人一人の能力と個性に応じた教育実践に努め、家庭や地域との連携による指導の充実などを行う。

〔平成24年度の主な取組状況〕

- いわでアスリートクラブ事業では、陸上競技を通じて、児童の心身の健全育成に努めた。
実施回数：37回 登録者数：222名。
実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園。
- 適応指導教室事業では、学校や関係機関と連携を図り、児童・生徒の在籍校への復帰に努めた。
入室生徒数：中学生12名、延べ日数409日。
来所相談者：15名 電話相談件数：9件 訪問件数：31件。
- 小・中学校の補修工事については、優先順位により計画どおり事業を実施し、児童・生徒の安全確保に努めた。
- 倒壊による事故を未然に防止するため、ブロック塀等耐震化補助を計画していたが、利用件数がなかった。
- 教材・教具等の整備については、小・中学校とも、計画に基づき進めることができた。特に、中学校は、新学習指導要領に対応した教材整備を進めることができた。図書整備については、根来小学校の蔵書数が図書標準を満たすよう、早急に対応する必要がある。
- 児童携帯用防犯ブザー購入費を補助し、登下校時の危険防止に努めた。
183名分を補助 申請率32%。
- 授業における実践研究を行うことにより、教職員の資質向上を図り、児

童・生徒の確かな学力の育成に努めた。

岩出小学校（2年目）言語活動の充実 上岩出小学校（1年目）算数科
他の4校は、それぞれの特色を生かした自主研究を実施。

- 紀の国緑育推進事業については、自然と触れ合う機会が減少している子どもたちに、森林体験等を通して貴重な体験をさせることができた。

参加児童数：613名 場所：日高川町 日高川ふれあいドーム。

- 特別支援教育就学奨励費扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。

小学校：40名 中学校：6名。

- 要保護、準要保護児童・生徒扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。

小学校：403名 中学校：314名。

- 事業所の協力により、職場体験を実施することができた。

岩出中学校 2年生 274名 78事業所。

岩出第二中学校 2年生 290名 68事業所。

- 授業の一環として中学校の防災訓練を実施した。また、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成を行った。

防災訓練

岩出中学校3年生 302名 岩出第二中学校3年生 260名。

防災ジュニアリーダー 45名参加。

岩出市地域防災訓練 22名参加。

- 私立幼稚園の就園奨励費補助事業を実施することにより、保護者の負担軽減を図った。

11園に私立幼稚園就園奨励費補助金を交付

- 学校給食については、児童・生徒に栄養バランスの取れた安全で安心な給食の提供に努めた。また、給食費の徴収率向上が図られた。

地産地消の推進 旬の野菜31品目使用 地産地消率77.6%。

徴収率（現年度）99.01%。

〔総合評価〕

- ◎ 学校教育の充実については、14事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」が2事業、「期待どおり」が11事業、「期待以下」が1事業と評価し、今後の方向性は14事業全てを「継続」とした。
- いわでアスリートクラブ事業については、登録者も多く成果があがっているが、指導者の確保が課題となっている。
- 適応指導教室事業については、依然、入室困難な児童・生徒がいるため、

学校、家庭及びスクールカウンセラーや他機関との連携強化をさらに図っていく必要がある。

- 小・中学校施設改修事業については、補修工事、環境整備工事の実施により、教育環境の整備や安全確保が図られたが、通学路の危険箇所については、さらに安全確保に取り組んでいく必要がある。
- ブロック塀等耐震化補助事業については、児童・生徒の安全確保を図るため必要な事業であり、地域住民への周知方法の改善に努めていく必要がある。
- 確かな学力育成のための実践研究事業については、子どもの意欲や態度に改善の兆しがみられるが、数値的な成果による検証が必要である。
- 学校給食運営事業については、円滑な給食運営を推進するために、給食費の滞納者に対し、支払督促申立てによる債権差押や、学校との連携による個別徴収をより一層強化するとともに、児童手当からの徴収等により収納率の向上にさらに努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 岩出アスリートクラブ事業については、年々登録者が増加し、競技力についても成果があがっているので、今後も是非継続してもらいたい。指導者については、ボランティアの指導者を公募するなど、教員以外の指導者も確保できるような工夫をお願いしたい。
- 適応指導教室事業については、昨年度に比べて大きく利用者が伸びたことは顕著な成果といえる。不登校の原因は、友達つきあいの複雑化や家庭環境など様々であると思われるので、今後も学校や関係機関と連携しながら児童・生徒一人一人の状況に応じた対応の充実をお願いしたい。
- 小・中学校施設改善事業については、非構造物材の耐震を完了したことで、小中学校の耐震化が全て完了したことは、大きな成果である。引き続き計画的に改修工事や補修工事を行い、児童・生徒の学習環境の充実を図ってもらいたい。なお、通学路の危険箇所については、今まで以上に教育委員会、学校、道路管理者、警察等と連携を強化し、改善に努めてほしい。
- ブロック塀等耐震化補助事業については、児童・生徒の安全確保という観点から引き続き実施する必要があるが、利用件数がなかったことは残念である。住民への本事業の周知方法等について、再検討してもらいたい。
- 確かな学力育成のための実践研究事業については、本事業を通じた教育委員会から学校へのサポートが重要である。今後も研究を充実させてもらいたい。
- 学校給食運営事業については、円滑な給食運営を推進するためには、給

食費の完全徴収が重要である。引き続き収納率の向上に努力してもらいたい。安全で新鮮な地元食材を活用することも重要であるため、引き続き地産地消の推進にも努めてもらいたい。

(2) **子育て環境の充実**

〔基本方針〕

地域子育て環境の充実については、児童の健全育成を図るため、家庭と地域社会が一体となった良好な社会環境づくりに努める。

学童保育については、保育時間や指導員の体制作りに一層努める。

〔平成24年度の主な取組状況〕

○ 共働き世帯を対象に、放課後における子どもの居場所づくりのための事業として、シルバー人材センターに委託し、放課後児童健全育成事業（学童保育）を実施した。

市内6ヶ所（7教室）で実施

小学校1年生から3年生対象

〔総合評価〕

◎ 子育て環境の充実については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。

○ 放課後児童健全育成事業については、効果が高くより一層の充実に努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

○ 岩出市は、核家族化が進んできており、夫婦共働きの家庭も多い。このような保護者にとっては非常に重要な事業であるため、引き続き本事業の充実に努めてもらいたい。

(3) **国際交流の推進**

〔基本方針〕

情報提供サービス等の充実に努め、民間による国際交流・地域ぐるみの国際交流を推進するほか、住民ボランティアの育成を図るなど、住民参加型の国際交流を展開する。

〔平成24年度の主な取組状況〕

- 外国青年を英語指導助手として招致し、中学校で英語教育を実施した。
岩出中学校、岩出第二中学校に2週間ごとに英語授業の助手として勤務。

〔総合評価〕

- ◎ 国際交流の推進については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 外国青年招致事業については、英語教育や国際理解教育の充実に大きな役割を果たすことから、今後も継続した実施が必要である。

〔外部評価委員の意見〕

- 外国青年招致事業については、英語教育や国際理解教育の充実に大きく寄与しているため、今後も継続してもらいたい。人選は市でできないとのことであるが、学校教育にふさわしい人物が招致されることを望む。

【生涯学習課】

(1) 青少年の健全育成

〔基本方針〕

青少年各団体の活動の充実と各組織との連携の強化に努め、家庭・学校・地域及び行政がそれぞれの果たす役割を明確にし、青少年を取り巻く様々な問題について取り組み、子どもの育つ環境を守るとともに、地域社会を形成している大人に対しても、青少年の健全育成に対する重要性や意識の向上に努める。

〔平成24年度の主な取組状況〕

- 青少年が心豊かに成長することを願い、青少年の健全育成の一環として、「青少年育成市民会議」を始め、各組織の強化・充実を図った。
- 「あいさつ運動」、「清掃運動」、「子ども安全パトロール隊」などの活動を通じて、青少年の取り巻く環境の安全確保を図った。
- 青少年センターでは、青少年の健全育成及び非行防止として、不良行為の早期発見、早期指導、補導活動、青少年に関する相談、立ち直り支援などに努めた。

〔総合評価〕

- ◎ 青少年の健全育成については、2事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。
- 学校・警察・青少年センター及び家庭・地域関係団体等が行政と一体となって、青少年が健やかに育つ環境づくりに努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 青少年育成市民会議助成事業において、大変充実した活動をしており評価できるが、岩出市においても少子高齢化が進んでおり、地区育成会の立ち上げについて取組の強化を図ってほしい。

(2) 生涯学習の推進

〔基本方針〕

市民一人一人生きがいを持って、人生を送ることのできる活力あるまちづ

くりを進めるため、学習者の主体性を尊重し、「いつでも、どこでも、誰でも学べる」、「共に生き、共に学ぶ」ことができる環境づくりに努める。

〔平成24年度の主な取組状況〕

- 放課後子ども教室推進事業については、子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、小学校の空き教室等を利用して、地域の方々の参画を得て、学習活動・文化活動を通して、地域住民との交流活動に取り組んだ。

6小学校で85教室、参加児童延べ人数は8,770名の参加。

- 公民館事業については、市民一人一人が生涯学習の各過程において、適切に学習できる「場」と「機会」を提供し、あらゆる世代に親しまれる公民館活動を実施した。

文化教室は、15講座、受講者数は延べ261名の参加。

成人講座は、10講座、受講者数は延べ613名の参加。

ふれあい学級は、11講座、受講者数は延べ1,731名の参加。

パソコン教室は、4教室、受講者数は63名の参加。

家庭教育学級は、10か所（保育所（園）、幼稚園）受講者数は1,195名の参加。

- 生涯学習振興事業については、文化祭の前夜祭として、生涯学習を考えるつどいコンサートを実施した。

ピアノ&ソプラノコンサートを実施し、284名の参加。

- 負担金・補助金事業については、市民の健全な体育及びレクリエーションの振興、青少年の健全育成のため、補助金を交付した。

- 市民運動会事業については、市民のスポーツ振興とレクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係を育むと共に、明朗・活発な人間育成のため実施した。

参加者数は、9,869名。

- 岩出マラソン大会実行委員会助成事業については、参加者に健康と体力づくりのため、生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広くPRすることを目的に開催した。

参加者数は、2,697名。

- スポーツ教室事業については、市民のスポーツ振興を図り、健康で明るいまちづくりを推進する事を目的に実施した。

親子教室は、137組で274名の参加。

ヨガ教室は、60名の参加。

エアロビクスは、63名の参加。

- 大会等選手派遣事業については、スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助した。

全国大会は10件、近畿大会は8件、県大会は13件の計31件。

〔総合評価〕

- ◎ 生涯学習の推進については、8事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」が1事業、「期待どおり」が7事業で、今後の方向性は、8事業全てを「継続」とした。
- 教室や講座等の事業の必要性や有効性等を常に検証しながら事業展開を図っていく必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 放課後子ども教室推進事業について、各小学校で多くの教室が開催されており、地域の連帯意識が薄まるなか、地域住民との交流も図られており、今後も子ども達が興味をもてる教室の開催を図られたい。
- 公民館事業において、文化教室や成人講座など様々な事業を行っているが、今後もさらに創意工夫し市民ニーズに対応した事業の展開を図られたい。
- スポーツ教室事業については、スポーツを通じての健康づくりに貢献しており、より多くの方に参加していただける取組をされたい。

(3) 文化・芸術の振興

〔基本方針〕

創造性のある文化の薫り高いまちづくりに向けて、郷土文化の保存継承並びにふるさと教育の更なる充実を図り、多種多様な芸術・文化に触れる機会を充実させるとともに、文化団体の育成など地域文化活動の支援に努める。

〔平成24年度の主な取組状況〕

- 文化祭事業については、市民の文化活動の成果を発表する機会を設け、

文化活動の振興と普及を図り、参加を通じて文化への理解を深め、心がふれあう活力あふれるまちづくりを目的に開催した。

参加人数は23,183名。

- 公民館フェア事業については、文化教室及び公民館利用サークルの日頃の成果発表の場を設け、人々の出会い、ふれあいの機会をつくり、公民館活動・文化活動に対する理解と関心を深めることを目的に開催した。

コンサート14団体で232名の参加。

ギャラリー16団体で224名の参加。

〔総合評価〕

- ◎ 芸術・文化の振興については、2事業の評価を実施し、総合評価は2事業とも「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。

- 文化祭については、出品数が横ばい状態であり、多くの市民に出品いただけるよう、企画・運営等協議し、幅広く参加できるよう努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 文化祭事業で、新しくそうへいちゃんコーナーを設けるなど、出品数を増やす取組が行われているが、今後も色々な発想で出品数を増やす工夫をされたい。

(4) 人権尊重の推進

〔基本方針〕

重要課題である同和問題はもとより、女性、子ども、高齢者、障害者などあらゆる人権問題の解決に向け、市民に対する人権意識の高揚に努める。

〔平成24年度の主な取組状況〕

- 人権啓発活動地方委託事業については、人権尊重思想の普及・高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めるため開催した。
- 保護者学級開設事業については、小学校の保護者を対象に、人権問題に関する認識と、人権教育を推進し、家庭や地域が果たす役割について、正しい認識をもつため開催した。

18講座で、参加人数は、延べ1,163名。

〔総合評価〕

- ◎ 人権尊重の推進については、2事業の評価を実施し、総合評価は2事業とも「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。
- 人権講演会を開催したが、一人でも多くの方に参加頂けるよう、周知方法を検討し、人権問題に関する正しい認識を得ることに努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 人権啓発活動地方委託事業で講演会を開催し、アンケート調査で人権問題への関心・理解で「深まった」の回答が高かったことは評価できるが、市民に人権問題に対する正しい意識を広めるために、一人でも多くの方に参加していただけるよう広報について検討されたい。

【岩出図書館】

(1) 子ども読書活動推進事業

〔基本方針〕

国や県の基本計画をもとに、岩出市における成果と課題を踏まえ、「子どもの自主的な読書活動の推進」を目指し、次の3点に取り組む。

- (1) 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進
- (2) 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備・充実
- (3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

〔平成24年度の主な取組状況〕

- 子どもたちの生涯にわたる「生きる力」の基礎的な部分を育む豊かな読書環境づくりの継続的な推進を図るため、平成25年度から平成29年度までの5年間を計画期間とする第2次岩出市子ども読書活動推進計画を策定した。
- 家族が子どもと一緒に読書する時間をつくり、「うちどく（家での読書）」することを推進するため、おすすめの図書のリストや家族の読書の記録を書きとめる欄を掲載した「うちどくノート」の配布や、図書館におすすめ本を展示する「うちどくコーナー」を設置した。

〔総合評価〕

- ◎ 子ども読書活動推進事業については、2事業の評価を実施し、総合評価は2事業とも「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。
- 家庭におけるうちどくノートの利活用に努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 子どもを取り巻く環境の変化、生活環境の多様化が子どもの生活に強く反映し、読書離れが進んでいると言われる中で、子どもたちが好きな本と出合えるよう、各種施策を引き続き実施してもらいたい。

- 学齢期の子どもにとって最も身近である学校図書室の効果的な活用ができるよう、岩出図書館と学校図書室の連携を更に進めてもらいたい。

(2) 図書館利用促進事業

〔基本方針〕

図書紹介、行事案内やサービス内容など様々な情報を発信したり、おはなし会、イベント事業、講演会を開催することにより、市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図る。

〔平成24年度の主な取組状況〕

- 市民の多様なニーズに対応できるよう様々なジャンルの資料を取揃え、本館と分館・分室のネットワーク化により、「いつでも、どこでも、誰でも」図書館サービスが受けられるように、地域密着型図書館運営に努めた。
- 各種のイベント事業、講演会、DVD上映会等を開催し、市民の読書活動・生涯学習の向上とともに、図書館の魅力を伝えた。

入館者数は、199,969名

貸出冊数は、335,244冊

登録者数は、25,077名

〔総合評価〕

- ◎ 図書館利用促進事業については、2事業の評価を実施し、総合評価は2事業とも「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。
- 各種のイベント等開催時期や内容等を検討し、更なる利用促進に努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 図書館の各種サービスがまだまだ周知できていないように思われるので、図書館イベントや図書館サービスについてPRし、情報提供することで図書館利用の促進を図ってもらいたい。
- 全ての利用者に図書館を身近に感じてもらえるよう、興味、関心を持つ図書資料の充実を図ってもらいたい。

【民俗資料館】

(1) 文化・芸術の振興

〔基本方針〕

これまで培ってきた岩出の歴史・文化・自然などを受け継ぎ、多種多様な芸術・文化に触れる機会を充実させ、時代や市民ニーズに応える。

文化財等や文化的資源の保護・活用を図り、伝統的行事や民俗芸能の伝承を促進し、文化・芸術の振興に努める。

〔平成24年度の主な取組状況〕

- 民俗資料館展観事業については、市民に郷土の歴史・文化に関心と理解を深めていただくことを目的に開催した。

秋季企画展の入館者数は、5,303名

根来塗講座作品展示の入館者数は、7,359名

6団体が参加した文化協会作品展示の入場者数は、延べ6,877名

- 民俗資料館体験学習事業については、小・中学生歴史ウォーク体験学習として、大宮神社及びその周辺の歴史散策と自然環境を体験した。

小・中学生歴史ウォーク体験学習の参加者数は、58名

第1回歴史講座の参加者数は、69名

第2回歴史講座の参加者数は、80名

- 国史跡保存管理計画等策定事業については、予定では平成23・24年度の2ヶ年事業であったが、文化庁から、事業期間延長の指導があったため、和歌山県教育委員会や同策定委員会委員長と検討し、根来寺周辺の景観調査、環境調査等の精査を行うため、平成25年度までの3カ年事業として実施することになった。

〔総合評価〕

- ◎ 芸術・文化の振興については、4事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が4事業、今後の方向性は、3事業を「継続」、1事業を「完了」とした。
- 民俗資料館展観事業については、歴史的資料を取り上げた企画展示をし、

多くの市民の方に参加していただくため、関係団体や文化協会等への周知を図り、啓発活動に努める必要がある。

- 国史跡保存管理計画等策定事業については、策定委員との意見調整を行いながら、保存管理計画事業の素案を作成した。また、策定委員会を4回、策定小委員会を3回実施し、保存管理計画についての検討を行うことができた。

〔外部評価委員の意見〕

- 民俗資料館展観事業については、市民の展示ニーズに対応したテーマの実施や内容の更なる充実を図ってもらいたい。また、資料館をより多くの方に利用いただくためにも秋季企画展だけでなく新たな展示事業に取り組んでもらいたい。
- 民具をはじめとした郷土資料や美術品ともなる「根来塗」など積極的に収集・保管し、特色ある資料館づくりに取り組んでもらいたい。
- 民俗資料館体験学習事業については、屋外の体験学習だけでなく、資料館の常設展示なども活用した歴史学習会を行うなど、市民や子どもたちに郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供してもらいたい。

平成24年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日)

教育総務課

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	学校教育の充実	いわてアスリートクラブ事業	陸上競技を通じて、児童の心身の健全育成を図る。	毎週土曜日の午前中に、中央小学校又は大宮緑地総合運動公園を使用して、岩出市内の小学生(3年生以上)を対象に、陸上競技活動を実施する。	b	継続	継続して参加している児童は、確実に陸上の競技力が身につく、心身ともに向上が見られ成果が上がっている。全国大会出場者1名。指導者は、ボランティア頼りになっていること、小学校の教員が多いため、学校行事等と重なり指導者が不足する時があることなど、指導者の体制の検討が必要である。
2	〃	適応指導教室事業	心理的要因等により学校生活に適応できず登校できない児童及び生徒の在籍校への復帰を目的とする。	不登校児童・生徒に対し、在籍校への復帰や自立を図るための指導及び援助、不登校児童・生徒に対する教育相談、学校等関係機関との連携を行う。	a	継続	昨年と比べ入室者が12名と増加しており、そのうちの1名が退室して、在籍校に戻ることができた。このように、不登校の児童・生徒にとって重要な事業である。しかし、入室者の中でも、ほぼ毎日出席できる生徒と全く出席できない生徒があるため、出席できない生徒への対応について検討する必要がある。また昨年度に引き続き、フレンドへの入室が困難な生徒に対して、在籍校と連携を図り家庭訪問等連絡を密にし、本教室の活用を促進することが必要である。
3	〃	小・中学校施設改修事業	施設の補修及び通学路の整備工事等により安心して学習できる環境整備や児童・生徒の安全確保を図る。	小・中学校の補修工事、非構造物材耐震化工事及び通学路整備工事とそれに伴う設計監理業務委託ほか各種業務委託を実施する。	a	継続	各小・中学校の補修(普通教室床改修工事等)、非構造物材耐震化工事(照明器具、放送機器等、落下の危険性がある物の固定)を行い、安全で安心して授業を受ける環境の確保が図れた。非構造物材耐震化工事は平成24年度で完了。通学路の危険箇所については、教育委員会、学校、道路管理者及び警察と協議し、今後も改善に努める。
4	〃	ブロック塀等耐震化補助事業	通学路に面したブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする通行人の安全を確保する。	通学路に面した倒壊の恐れのあるブロック塀等の撤去費用の1/2、軽量塀等の設置費用の1/3を補助する。ただし、補助の上限は撤去10万円、設置は5万円	d	継続	ブロック塀等撤去件数、軽量塀等設置件数ともに0件。児童・生徒の安全確保を図るために必要な事業であるが、本事業の利用がなかった。地域住民に対し、本事業のさらなる周知に努める。
5	〃	小・中学校教材教具等の整備事業	教材・教具を整備し、児童・生徒の学習意欲の向上及び教師の指導の効率化を図る。児童・生徒図書を充実させ、読書環境の整備・充実を図る。	教材・教具購入については、学校からの購入希望を元に、緊急性・必要性を精査し計画を立て、整備を進める。学校の図書購入希望リストに基づき、整備を進める。	b	継続	小・中学校とも教材・教具の充実・更新を図ることができ、児童・生徒の学習意欲向上及び教師の指導効率化に寄与した。特に中学校においては、平成24年度は中学校学習指導要領の改訂に伴い、新学習指導要領に必要な教材備品を整備した(2,168千円)。図書購入冊数は、岩出小337冊、山崎小544冊、山崎北小662冊、根来小371冊、上岩出小475冊、中央小421冊、岩出中699冊、岩出第二中615冊。根来小以外は図書標準を達成。根来小学校の蔵書数を、早急に図書標準をクリアできるようにする必要がある。
6	〃	児童携帯用防犯ブザー補助事業	防犯ブザー購入費の一部を補助することにより、携帯率を高め、児童を犯罪から保護し、危険を防止する。	各校PTAが防犯ブザーを購入する費用に対して、その1/2を補助する。ただし、児童1人につき1回限りとし、限度額400円。	b	継続	登下校における犯罪等防止に効果を挙げているが、児童の好みに合った商品を独自に購入する家庭も多数あり、申請率は低い。児童の安全を守るための事業であるため、今後も携帯率向上に努める。

7	”	確かな学力育成のための実践研究事業	授業における実践研究を行うことにより、教員の資質向上を図り、児童の確かな学力を育成する。	岩出小学校を「言語活動の充実」研究の拠点校として、上岩出小学校を算数研究の拠点校として、市内各小中学校と連携しながら、子どもの確かな学力を育成している。 他の小学校4校については、それぞれの特色を生かした自主研究を実施。	b	継続	各学校とも教員が意欲的に研究を推進し、その結果、子どもの意欲や態度に改善の兆しが見られる。 成果の指標が曖昧であるため、成果の検証方法を工夫・検討するとともに、指定終了後の教員のモチベーション維持について対策を講じる必要がある。
8	”	紀の国緑育推進事業	子どもたちが森林の働きや林業について学び、実際に間伐作業や木材加工を体験することにより、森林を守り育てる意識を醸成し、森林学習を深める。	森林体験学習前に、森林の働きや林業について参考資料を用いた事前学習を行い、その後、森林に入り、実際に間伐作業や木材加工を体験する森林体験学習を行う。最後に、事後学習としてこれまでの学習を振り返り、森林の大切さや森林の保全について学習する。	b	継続	自然と触れ合う機会が減少している現在の子どもたちにとっては、貴重な体験ができる事業であり、環境教育としての役割も果たした。 今後、学習方法の創意工夫に努め、更なる効果の向上を図る。
9	”	特別支援教育就学奨励費扶助事業(小・中学校)	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を国の基準により支給し、特別支援教育の振興を図る。	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒用品費、通学用品費に対する奨励費である。 支給については、年3回(7月、12月、3月)支給する。	b	継続	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的な負担が軽減され、特別支援教育の振興を図ることができた。 本事業の果たす役割は大きく、今後も事業の継続が必要である。
10	”	要保護・準要保護児童・生徒扶助事業(小・中学校)	経済的理由によって就学が困難と認められる児童・生徒に対し、就学の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒用品費、通学用品費に対する奨励費である。 支給については、年3回(7月、12月、3月)支給する。	b	継続	要保護・準要保護児童・生徒の保護者の経済的な負担が軽減され、義務教育の円滑な実施を図ることができた。 経済的理由により就学困難な家庭にとって、本事業の果たす役割は大きく、事業の継続が必要である。
11	”	和歌山を元気にする職場体験事業	職場体験事業を実施することにより、生徒に望ましい勤労観及び職業観を身に付けさせる。	各中学校において、事業所と連携し中学2年生を対象に3日間の職場体験事業を実施する。	b	継続	中学生が職業について考え、自分の進路を考える絶好の機会となった。 今後も必要な事業であるため、さらなる受け入れ事業所の開拓が必要である。 また、今後も、紀の川市の中学校と連携し、情報交換を行っていく必要がある。

12	"	中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業	中学生の危機意識を高めるとともに、災害時の地域防災活動において中心的な役割を担うことを意識づけるために防災訓練を実施する。	防災訓練は、夏休みの土・日曜日に、各中学校を会場に3年生を対象として実施する。 防災ジュニアリーダー育成事業は、夏休みの2日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署を会場に、中学生を対象に実施する。 また、受講者は、岩出市地域防災訓練にも参加する。	b	継続	授業の一環としての防災訓練を実施することができた。生徒は概ね真面目な態度で参加することができた。 今後も、こうした訓練を一層充実させ、中学生の防災意識の高揚を図り、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成に努める。
13	"	私立幼稚園就園奨励費補助事業	家庭の所得状況に応じ、保護者の経済的負担の軽減及び保護者負担の格差是正を図る。	私立幼稚園に在園する本市に住所を有する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の岩出市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に該当した保護者に対し、設置者が保育料を減免する場合に、当該設置者に対し、補助を行う。	b	継続	本事業の実施により、保護者負担の格差是正を図ることができた。 保護者の経済的な負担を軽減するための私立幼稚園に対する補助事業であるため、今後も継続実施に努める。
14	"	学校給食運営事業	児童・生徒に栄養バランスの取れた安全な給食を提供し、心身の健全な育成を図るとともに、円滑な学校給食運営を推進するため、給食費の完全徴収に取り組む。	地産地消の推進を図り、献立の工夫改善に取り組む。 給食費については、学校と連携を図るとともに、支払督促申立による債権差押により徴収率の向上に取り組む。	b	継続	学校給食は、栄養バランスの取れた献立となっている。 地産地消率77.6% 現年度給食費徴収率99.01% 今後も、地産地消の推進と安全・安心な給食の提供を図るとともに、支払督促申立による債権差押や学校との連携を一層強化し、児童手当からの徴収を行い徴収率の向上に努める。
15	子育て環境の充実	放課後児童健全育成事業	放課後又は夏休み等の長期休暇中に家庭において、保育することが困難と認められる小学校に就学している児童を対象に、適切な遊び及び生活の場を提供する。	小学校1年生～3年生までの児童で、家庭での保育が困難と認められる者に対して、放課後の児童の健全育成を図る。 社団法人シルバー人材センターに委託し、市内6ヶ所(7教室)で実施している。 実施時間は、学校開業日は、午後1時から午後7時まで、それ以外の日は、午前8時から午後7時まで開設。休日は日曜日、8月13日～16日、12月28日～1月5日。	b	継続	共働き家庭等の児童の放課後において、安全で安心した時間を過ごす支援ができ、効果は大きかった。 運営にあたっては、各学童保育所、学校(山崎北小学校を除く)、教育委員会の三者が2ヶ月に1度、協議をする機会を設けたことで、問題点や学童保育所、学校での児童の様子などを共有できたことから、より円滑に運営することができた。 シルバー人材センターから派遣される指導員の資質向上を図っていく必要がある。
16	国際交流の推進	外国青年招致事業	中学校の英語の授業において、外国青年の補助により英語を多用した授業を実践することにより、外国語教育の充実及び推進を図る	外国青年を英語指導助手として招致し、中学校で英語教育の授業を実施する。	b	継続	英語教員と英語指導助手とのチームティーチングを実施することにより、中学校の英語教育が充実した。また、英語指導助手と生徒とのコミュニケーションが、英語の授業以外でも積極的に行われ、国際理解教育の充実にも寄与した。 今後、さらに英語教育の重要性が増してくることから、引き続き本事業の継続が必要である。

平成24年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日)

生涯学習課

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	青少年の健全育成	青少年育成市民会議助成事業	青少年の健全育成の中心的役割を担う、青少年育成市民会議に係る活動費を助成し、家庭・学校・地域及び行政が連携し、青少年の健全育成を推進する。	人間関係の確立や仲間意識・地域連帯意識を醸成するため、家庭・学校・地域社会が一体となった「市民総ぐるみの運動」として下記の活動を推進する。 【1】活力ある地域活動 【2】家庭教育支援活動 【3】意識啓発のための活動 【4】関係機関・諸団体との連携強化と情報収集 【5】子どもを守るための活動	b	継続	その時々課題に対応した活動を実施しており、各事業における参加者も多く、効果があった。今後も地区育成会の活動の活性化を図るとともに、地区育成会の立ち上げを区・自治会等への働きかけを継続し、また、あいさつ運動や見守り活動の充実に努める。
2	〃	青少年センター運営事業	青少年の非行、被害防止、及び岩出市内の青少年を取り巻く環境浄化を目的に、補導活動、相談活動、広報活動を実施する。	非行の早期発見、早期指導、その他青少年の非行防止活動を行い、関係機関との連携を図る。	b	継続	補導委員や各種団体の協力のもと、街頭補導・街頭啓発等の実施により、非行防止への成果が十分にあった。今後は、警察等関係機関との連携の強化を図るとともに、街頭補導の充実のため補導回数について見直していく。
3	生涯学習の推進	放課後子ども教室推進事業	放課後に地域の方々の参画を得て、スポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等を推進する。	安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動を推進する。	b	継続	住民の方々の協力を得て、各種の教室を開催し、多数の小学生が参加した。今後も、協力者の確保に努めるとともに、学校との連絡を密にし、進めていく。
4	〃	公民館事業	市民の高まる学習意欲に対応した公民館運営に努め、公民館の充実を図る。	市民一人一人が適切に学習できる”場”と”機会”の拡大を図り、あらゆる世代に親しまれる公民館活動を展開している。	b	継続	市主催の各種教室や文化協会の活動など住民ニーズに対応した運営に努めている。今後も、住民ニーズに対応した場と機会の確保に努めていく。

平成24年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日)

生涯学習課

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
5	生涯学習の推進	生涯学習振興事業	より豊かで充実した生活を送るための生涯学習機会を提供する。	11月2日の文化祭の前夜祭として、生涯学習を考えるつどいコンサートを実施。	b	継続	ピアノとソプラノのアンサンブルで奏でる音色を聴きながら、世代を超えて様々なことを感じ、学べる機会を提供できた。
6	〃	負担金・補助金事業	競技力の向上と育成、活動の活性化を図るため、スポーツ少年団・体育協会への補助金や県への負担金	市体育協会並びに市スポーツ少年団他4団体に対して補助する。	b	継続	各種補助金は、青少年の健全育成や生涯スポーツの振興などに成果をあげることができた。
7	〃	市民運動会事業	市民へのスポーツ振興と、レクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係をはぐくむとともに明朗・活発な人間育成に資する事を目的とする。	10月14日の体育の日に運動会種目(23種目)並びにスポーツアトラクション(6か所)を実施。	b	継続	参加者数9,869名と、多くの市民が参加して健康増進を図り、市民相互のふれあいと交流を深める絶好の機会を提供することが出来た。
8	〃	岩出マラソン大会実行委員会助成事業	市民及び参加者に、健康と体力づくりをするための生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広く周知することを目的とする。	一般15キロの部(予定人数600名)、一般5キロの部(予定人数400名)、小学生3キロの部(予定人数600名)、ファミリー2キロの部(予定人数900名)会場並びにコース:根来若もの広場(広域農道スタート～若もの広場ゴール)平成25年3月10日(日)開催	a	継続	県外からの参加者も多く、参加申込が計画以上の人数(3,159名)であり、岩出市を広くPRすることができた。また、参加者間の交流により、互いにふれあうことが出来、有意義な大会となった。 今後も、会場並びにコースの安全確保と、スムーズな大会運営に努める。
9	〃	スポーツ教室事業	市民のスポーツ振興を図り、健康で明るいまちづくりを推進する。	親子体操教室・ヨガ教室・エアロビクス教室を実施。	b	継続	毎年、内容に工夫し楽しく参加できるよう取り組み、市民の健康維持増進に貢献した。 親子体操教室は、3歳児同士や親たちの交流につながり、楽しく運動することができた。 今後も、市民のニーズにあった教室の開催を目指す。

平成24年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日)

生涯学習課

総合評価

番号	主要 施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
10	生涯学習の推進	大会等選手派遣補助事業	スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に必要な経費の一部を補助することを目的とする。	市スポーツ少年団及び市体育協会に属する者が大会に出場する場合の経費の一部を補助する。	a	継続	本年度は全国大会10件、近畿大会8件、県大会13件 計31件の派遣補助を行い、スポーツの振興を図ることができた。
11	文化・芸術の振興	文化祭事業	市民文化の一層の発展と充実を図るため、文化活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興と普及を図るとともに、参加を通じて薫り高い文化への理解を深め、心がふれあう活力あふれるまちづくりを推進する。	日時:平成24年11月3日(土)～4日(日) 場所:市民総合体育館ほか 内容:(テーマ ふれあう心 輝く文化) ○作品展示 ○芸能発表 ○各種イベントコーナー	b	継続	入場者が23,183名と前年度に比べ、3,812名の増となり、市民相互のふれあいと交流が図られた。今後も、多くの作品の出展がいただけるよう、文化協会等に協力を求めるとともに、広報を工夫し周知に努める。
12	〃	公民館フェア事業	文化教室及び公民館利用サークルによる日頃の成果発表を通じて、人々の出会い、ふれあいの機会をつくり、市民が公民館活動・文化活動に対する理解と関心を深めることを目的とする。	日時:平成25年3月2日(土)～3日(日) 場所:岩出市総合保健福祉センター 内容:(「岩出市民ふれあいまつり」と同時開催) ○公民館コンサート ○公民館ギャラリー ○公民館チャリティー	b	継続	来場者が1,919名と前年度に比べ、264名の減となったが、成果発表の場及び市民のふれあいの機会をつくることのできた。保健推進課と連携を図り、周知に努める。
13	人権尊重の推進	人権啓発活動地方委託事業	人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資する。	人権啓発講演会を開催し、多数の市民が参加することにより、人権意識の向上を図る。	b	継続	アンケートを行った結果、講演会による人権問題への関心・理解では「深まった(すこし・おおいに)」の人が約94%となっており、人権啓発に繋がった。参加者が少なかったため、今後どのようにして周知を行うかが課題。

平成24年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日)

生涯学習課

番号	主要 施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
14	人権尊重の推進	保護者学級開設事業	児童の保護者に対する人権学習の推進	小学校6校で保護者を対象に1回2時間の講座を年間3講座開催。	b	継続	人権問題に対する正しい認識を広めることができた。今後も多くの保護者の方に参加してもらえよう努める。

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	子ども読書活動推進事業	第2次岩出市子ども読書活動推進計画策定事業	子どもたちの生涯にわたる「生きる力」の基礎的な部分を育む豊かな読書環境づくりの継続的な推進を図る。	平成25年度から平成29年度までの5年間に計画期間とする第2次岩出市子ども読書活動推進計画を策定し、実行する。	b	継続	これまでの第1次計画期間での取組みにおける成果と課題を踏まえ、更なる岩出市における子ども読書活動の推進のため、子どもの読書環境に関するアンケート調査を実施するとともに、計画案に対する意見募集も行い、作成した。今後も、計画に基づき、事業を実施していく。
2	〃	家族ふれあい読書推進事業	家族が子どもと一緒に読書する時間をつくり、「うちどく(家での読書)」することを推進するとともに、家庭力の向上と子どもの読書活動の活性化を図る。	うちどくにおすすめの図書のリストや家族の読書の記録を書きとめる欄を掲載した「うちどくノート」の配布や図書館に おすすめ本を展示するうちどくコーナーの設置を行う。	b	継続	「うちどくノート」の各小中学校への配布及び説明を行い、図書館にはおすすめ本を展示する「うちどくコーナー」を設置した。今後は、うちどくノートの活用に努める。
3	図書館利用促進事業	図書館運営事業	市民が身近にあって、いつでも、どこでも、だれでも図書館サービスが受けられるように、岩出図書館と分館・分室のネットワークにより、地域密着型の図書館運営を図る。	さまざまなジャンルの蔵書を充実するとともに、分館・分室との情報ネットワーク化の充実を図る。 また、DVD上映会、おはなし会、各種体験教室、講演会等の開催を実施し、図書館の利用を促進する。	b	継続	入館者数、貸出点数は、前年度に比べ減少しているものの、貸出人数は増えている。今後は、イベントの開催内容等の見直しにより、新たな利用者に図書館に来てもらい、各種サービスを知ってもらえるように努める。
4	〃	図書購入事業	市民が図書館を身近に感じ、趣味や研究、仕事、遊びや暮らしの中で活かせるよう、新聞・雑誌からやや専門的な資料まで幅広く収集し、提供する。	一般図書・児童図書及び視聴覚資料(DVD・CD)等、図書館資料の収集を行う。	b	継続	一般図書9,703冊、児童図書3,640冊、参考図書211冊、視聴覚資料DVD108枚、CD106枚を購入し、図書資料の充実を図った。今後も利用者の幅広いニーズに対応し、参考書や郷土資料など図書の収集に努め、図書の充実を図る。

平成24年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日)

民俗資料館

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	文化・芸術の振興	民俗資料館施設改修事業	民俗資料館の施設改修により、施設の整備・充実を図る。	民俗資料館の屋根補修工事、常設展示室の空調改修工事、常設展示改修工事を実施する。	b	完了	全ての事業を計画どおり実施することができた。
2	〃	民俗資料館展観事業	市民に郷土の歴史・文化に関心と理解を深めていただくことを目的とする。	「岩出の古建築と美～古い建物をみてみよう～」をテーマに企画展開催 会期11月3日(土)～11月25日(日)まで 根来塗講座作品展示開催 会期3月17日～4月6日まで 文化協会作品展示開催 参加6団体	b	継続	企画展開催中は、来館者にアンケートを実施し、企画展示の感想や今後の企画展示等へのニーズ等を把握することができた。 企画展開催期間の入館者数5,303名 根来塗講座作品展示の入館者数7,359名 文化協会作品展示の入場者数延べ6,877名 できるだけ多くの市民の方に来館いただくため、関係機関等への働きかけのほか、市の広報やホームページの活用等、啓発活動に努める。
3	〃	民俗資料館体験学習事業	歴史・文化について、市民の学習ニーズに応えるとともに、次代を担う小・中学生に市の歴史・文化に関心や理解を深め、より一層の郷土愛を養う。	小中学生歴史ウォーク&自然観察体験 日時:8月5日(日) 午前8時00分～ 場所:大宮神社及びその周辺 歴史講座 第1回:6月24日(日)午後1時30分～ テーマ:岩出のなりたち～中世から今日まで～ 第2回:2月2日(土) 午後1時30分～ テーマ:根来寺周辺の森林の変化と利用～里山のいま・むかし～	b	継続	○小・中学生歴史ウォーク&自然観察体験学習 児童・生徒33名、保護者25名、計58名の参加を得た。 ○歴史講座 ・第1回 参加者数:69名 ・第2回 参加者数:80名 今後も多くの方に参加いただくため、学習内容や方法等について、アンケートの結果を参考に工夫・改善に努める。
4	〃	国史跡保存管理計画等策定事業	国史跡根来寺境内の今後の適正な保存管理計画を策定することを目的に、策定委員会を設置し委員会の審議を経つつ報告書を作成する。	平成23・24年度の2ヶ年事業として実施する。 文化庁から、期間延長の指導があり、県教育委員会や策定委員会委員長と協議の結果、根来寺周辺の景観調査や環境調査等の精査を行うため、平成25年度までの3ヶ年事業として実施することになった。	b	継続	平成24年度は、策定委員との意見調整を行いながら、保存管理計画事業の素案を作成した。また、策定委員会を4回、策定小委員会を3回開催し、保存管理計画の策定について検討を行うことができた。